



圧力指示計

PG500 設置・配線取扱説明書

IMR02F01-J6

All Rights Reserved, Copyright © 2007, RKC INSTRUMENT INC.

本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みいただき、内容を理解された上でご使用ください。なお、本書は大切に保管し、必要なときにご活用ください。

本書はPG500の設置・配線および仕様について説明したものです。

操作方法については、PG500 操作説明書 (IMR02F02-J口) をご覧ください。通信機能 (オプション) については、PG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F03-J口) または別冊のPG500 通信取扱説明書 (IMR02F04-J口) を参照してください。別冊の説明書は、当社ホームページからダウンロードできます。ホームページアドレス: <https://www.rkcinst.co.jp/download-center/>

The English manuals can be downloaded from the official RKC website: <https://www.rkcinst.co.jp/english/download-center/>

■ 付属品の確認

PG500 設置・配線取扱説明書 (本書).....	1
PG500 操作説明書 (IMR02F02-J口).....	1
PG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F03-J口) [通信機能付きの場合のみ].....	1
取付具 (ネジ付き).....	2
単位シール (SAP-368).....	1

■ 安全上の注意



- 本製品の故障や異常がシステムの重大な事故につながる恐れのある場合には、外部に適切な保護回路を設置してください。
- すべての配線が終了するまで電源を ON にしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 本製品は、記載された仕様の範囲外で使用しないでください。火災・故障の原因になります。
- 引火性・爆発性ガスのあるところでは使用しないでください。
- 電源端子など高電圧部に触らないでください。感電の恐れがあります。
- 本製品の分解、修理、および改造はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。

注 意

- 本製品は、産業機械、工作機械、計測機器に使用されることを意図しています。(原子力設備および人命にかかわる医療機器などには使用しないでください。)
- 本製品はクラス A 機器です。本製品は家庭内環境において、電波障害を起こすことがあります。その場合には、使用者が十分な対策を行ってください。
- 本製品は強化絶縁によって、感電保護を行っています。本製品を装置に組み込み、配線するときは、組み込み装置が適合する規格の要求に従ってください。
- 本製品におけるすべての入出力信号ラインを、屋内で長さ 30 m 以上で配線する場合は、サージ防止のため適切なサージ抑制回路を設置してください。また、屋外に配線する場合は、配線の長さにかかわらず、適切なサージ抑制回路を設置してください。
- 本製品は、計装パネルに設置して使用することを前提に製作されていますので、使用者が電源端子等の高電圧部に近づけないような処置を最終製品側で行ってください。
- 本書に記載されている注意事項を必ず守ってください。注意事項を守らずに使用すると重大な傷害や事故につながる恐れがあります。

- 配線を行うときは、各地域の規則に準拠してください。
- 機器破損防止および機器故障防止のため、本機器に接続される電源ラインや高電流量の入出力ラインに対しては、適切な容量のヒューズなどによる回路保護を行ってください。
- 製品の中に金属片や導線の切りくずを入れないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 端子ネジは記載されたトルクで確実に締めてください。締め付けが不完全だと、感電・火災の原因になります。
- 放熱を妨げないよう、本機の周辺をふさがないでご使用ください。また通風孔はふさがないでください。
- 不使用端子には何も接続しないでください。
- クリーニングは必ず電源を OFF にしてから行ってください。
- 本製品の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。なお、シンナ類は使用しないでください。変形、変色の恐れがあります。
- 表示部は硬い物でこすったり、たたいたりしないでください。

輸出貿易管理令に関するご注意

大量破壊兵器等 (軍事用途・軍事設備等) で使用されることがない様、最終用途や最終客先を調査してください。なお、再販売についても不正に輸出されないよう、十分に注意してください。

ご使用の前に

- 本書では、読者が電気関係、制御関係、コンピュータ関係および通信関係などの基礎知識を持っていることを前提としています。
- 本書で使用している図や数値例、画面例は、本書を理解しやすいように記載したものであり、その結果の動作を保証するものではありません。
- 本製品を継続的かつ安全にご使用いただくために、定期的なメンテナンスが必要です。本製品の搭載部品には寿命があるものや経年変化するものがあります。
- 本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。
- 本書の記載内容は、お断りなく変更することがあります。本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点などがありましたら、当社までご連絡ください。
- 以下に示す損害をユーザーや第三者が被っても、当社は一切の責任を負いません。
 - 本製品を使用した結果の影響による損害
 - 当社において予測不可能な本製品の欠陥による損害
 - 本製品の模倣品を使用した結果による損害
 - その他、すべての間接的損害

1. 取 付

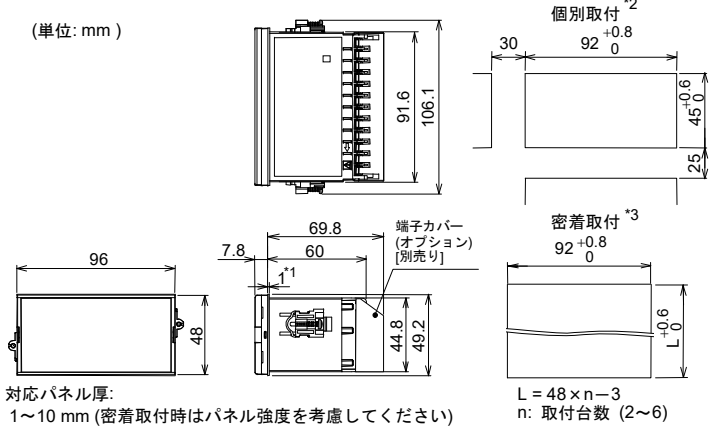


感電防止および機器故障防止のため、必ず電源を OFF にしてから本機器の取り付け、取り外しを行ってください。

1.1 取付上の注意

- (1) 本機器は、つぎの環境仕様で使用されることを意図しています。(IEC61010-1) [過電圧カテゴリ II、汚染度 2]
- (2) 以下の周囲温度、周囲湿度の範囲内で使用してください。
 - 許容周囲温度: -10~+50 °C
 - 許容周囲湿度: 5~95 %RH (絶対湿度: MAX. W. C 29.3 g/m³ dry air at 101.3 kPa)
 - 設置環境条件: 屋内使用、高度 2000 m まで
- (3) 特に、つぎのような場所への取り付けは避けてください。
 - 温度変化が急激で結露するような場所
 - 腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所
 - 本体に直接振動、衝撃が伝わるような場所
 - 水、油、薬品、蒸気、湯気のかかる場所
 - 塵埃、塩分、鉄分の多い場所
 - 誘導障害が大きく、静電気、磁気、ノイズが発生しやすい場所
 - 冷暖房の空気が直接あたる場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 輻射熱などによる熱蓄積の生じるような場所
- (4) 取り付けを行う場合は、つぎのことを考慮してください。
 - 配線、保守、耐環境を考慮し、機器の上下は 50 mm 以上のスペースを確保してください。
 - 発熱量の大きい機器 (ヒータ、トランス、半導体操作器、大容量の抵抗) の真上に取り付けるのは避けてください。
 - 周囲温度が 50 °C 以上になるときは、強制ファンやクーラーなどで冷却してください。
 - 耐ノイズ性能や安全性を向上させるため、高圧機器、動力線、動力機器からできるだけ離して取り付けてください。
 - 高圧機器: 同じ盤内での取り付けはしないでください。動力線: 200 mm 以上離して取り付けてください。動力機器: できるだけ離して取り付けてください。
 - 水平に取り付けてください。傾けた取り付けは、誤動作の原因になります。

1.2 外形寸法

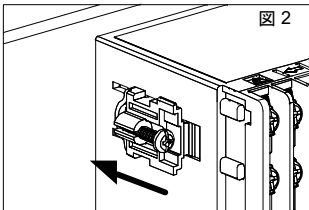
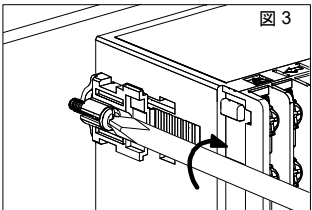
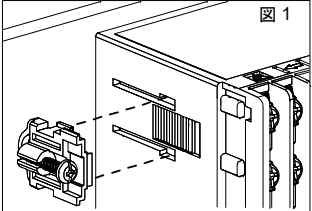


- 対応パネル厚:
1~10 mm (密着取付時はパネル強度を考慮してください)
- ^{*1} ケース用ゴムパッキン
- ^{*2} 個別取付の場合で、パネルに取付穴をあける際には、パネルカット面にバリ・ゆがみ、パネルの反りがないように注意してください。パネルカット面にバリ・ゆがみ、パネルの反りがあると、防水性能に影響を及ぼす原因になります。
- ^{*3} 密着取付の場合、防水・防塵には対応しませんので、ケース用ゴムパッキンは取り外してください。

1.3 取付方法／取り外し方法

■ パネルへの取り付け

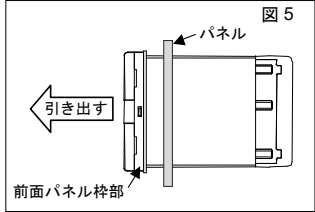
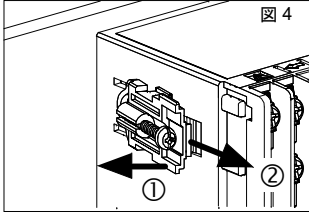
1. パネルに取付穴をあけます。
2. 本機器をパネル前面から挿入します。
3. 取付具を本機器の取付口に差し込みます。(図 1)
4. 本機器がパネルにしっかりと固定されるまで、取付具を押してください。(図 2)
5. プラスドライバを使用して、ネジ先端部がパネルにあたってから、1 回転させてください。(図 3)
6. 残りの取付具も、上記 3.~5. と同じ手順で取り付けてください。



- 本機器はパネルに取り付けた状態で、本機器の前面部分が IP66 (NEMA 4X) に適合します。防水・防塵効果を確保するには、本機器を取り付けた後、パッキンにズレや隙間がないことを確認してください。パッキンが劣化した場合、当社営業所または代理店までご連絡ください。

■ パネルからの取り外し

1. 電源を OFF にします。
2. 配線を外します。
3. 取付具のネジを緩めます。
4. 取付具の突起部を持ち上げながら (①)、手前に引っ張って (②)、取付具をケースから取り外します。(図 4)
5. 残りの取付具も、上記 3.、4. と同じ手順で取り外してください。
6. 本機器の前面パネル枠部を持ちながら、取付穴から引き出します。(図 5)



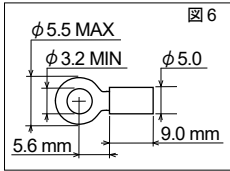
2. 配 線



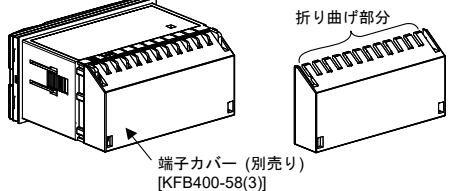
感電防止および機器故障防止のため、すべての配線が終了するまで電源を ON にしないでください。また、本機器への通電前には配線が正しいことを必ず確認してください。

2.1 配線上の注意

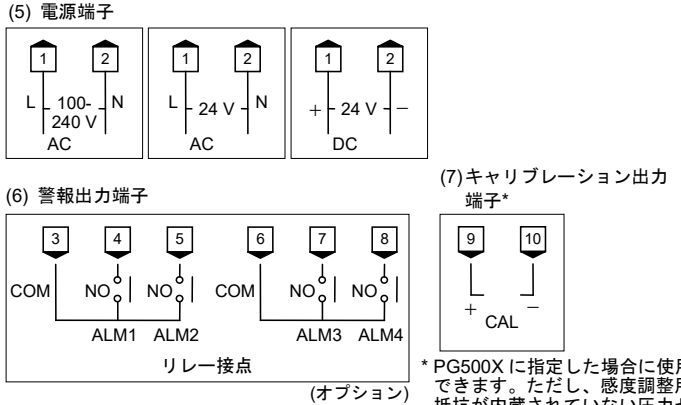
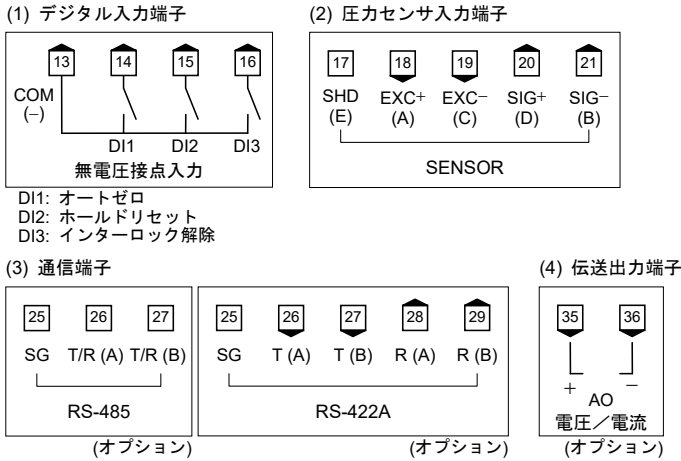
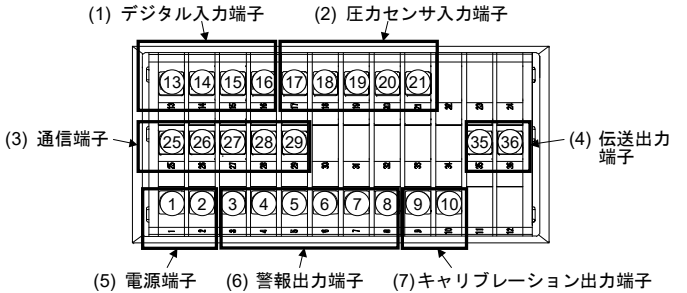
- 圧力センサとの接続には、専用シールドケーブルを使用してください。
- 耐熱ガラス被膜ケーブルは、被膜が繊維質のため、高温下にさらされたり、導通液体 (水等) の接触があったりすると、電氣的絶縁性能が低下し、圧力指示誤差を招くことがあります。地下配線や高温になるような電気配管内への配線は避けてください。
- 入力信号線はノイズ誘導の影響を避けるため、計器電源線、動力電源線、負荷線から離れて配線してください。
- 計器電源は、動力電源からのノイズ影響を受けないように配線してください。ノイズの影響を受けやすい場合には、ノイズフィルタの使用を推奨します。
 - － 線材はより合わせてください。より合わせのビッチが短いほどノイズに対して効果的です。
 - － ノイズフィルタは必ず接地されているパネル等に取り付け、ノイズフィルタ出力側と電源端子の配線は最短で行ってください。
 - － ノイズフィルタ出力側の配線にヒューズ、スイッチなどを取り付けると、フィルタとしての効果が悪くなりますので行わないでください。
- 電源 ON 時に接点出力の準備時間が約 5 秒必要です。外部のインターロック回路等の信号として使用する場合は、遅延リレーを使用してください。
- 電源供給線は、電圧降下の少ない電線をツイストしたうえで使用してください。
- 24 V 電源仕様の製品には、電源に SELV 回路 (安全を保障された電源) からの電源を供給してください。
- 最終用途機器には、適切な電源を供給してください。
 - － 電源はエネルギー制限回路に適合 (最大電流 8 A) するもの
- 本機器には、電源スイッチやヒューズは付いていません。必要な場合には、本機器の近くに別途設けてください。推奨ヒューズ定格: 定格電圧 250 V、定格電流 1 A
- ヒューズ種類: タイムラグヒューズ
- 圧着端子はネジサイズに合ったものを使用してください。端子ネジサイズ: M3 × 7 (5.8 × 5.8 角座付き) 推奨締付トルク: 0.4 N・m 適用線材: 0.25~1.65 mm² の燃り線または単線 指定寸法: 図 6 参照 指定圧着端子: 絶縁付き丸形端子 V1.25-MS3 日本圧着端子製造 (株) 製
- 圧着端子などが隣の端子と接触しないようにしてください。



- 指定寸法以外の圧着端子を使用すると、端子ネジの締め付けができなくなる場合があります。その場合、あらかじめ圧着端子を曲げた後、配線を行ってください。無理に端子ネジを締め付けると、ネジ破壊の原因となります。
- 1 つの端子ネジに対し、最大 2 個の圧着端子を使って渡り配線が行えます。ただし、この場合、強化絶縁には対応できなくなります。
- 端子カバー使用時の注意について 端子カバーに圧着端子がぶつかってしまう場合には、端子カバーの折り曲げ部分を折り曲げ、取り除いてください。



2.2 端子構成



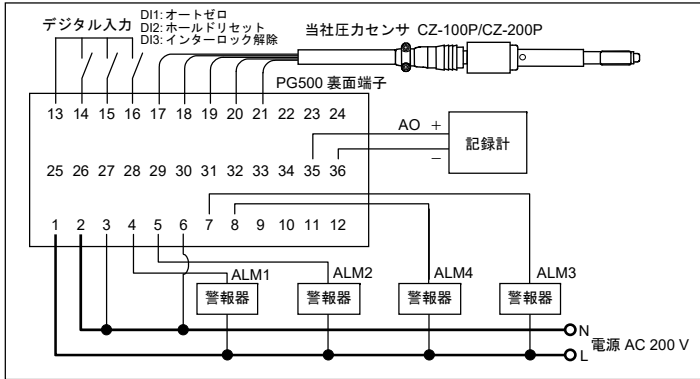
* PG500X に指定した場合に使用できます。ただし、感度調整用抵抗が内蔵されていない圧力センサの場合は無効です。

アイソレーション:

- : 各回路ブロック間が絶縁されていることを示しています。
- : 入力 (または出力) 間が非絶縁であることを示しています。

電 源	伝送出力 (AO) キャリブレーション出力
圧力センサ入力	第 1 警報出力 (ALM1)
デジタル入力 1 (DI1)	第 2 警報出力 (ALM2)
デジタル入力 2 (DI2)	第 3 警報出力 (ALM3)
通信	第 4 警報出力 (ALM4)

■ 配線例

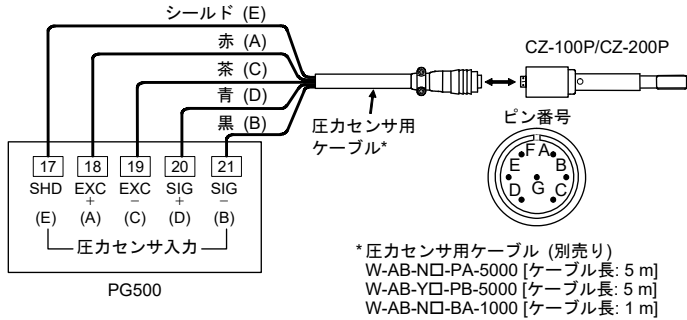


2.3 圧力センサとの接続

■ 端子番号と信号内容

圧力センサ入力端子			キャリブレーション出力端子 *		
端子番号	信号名	記号	端子番号	信号名	記号
17	シールド	SHD (E)	9	キャリブレーション出力	CAL+
18	センサ用電源出力	EXC+ (A)	10	キャリブレーション出力	CAL-
19	センサ用電源出力	EXC- (C)	* PG500X に指定した場合に使用できます。 ただし、感度調整用抵抗が内蔵されていない圧力センサの場合は無効です。		
20	センサ信号入力	SIG+ (D)			
21	センサ信号入力	SIG- (B)			

■ 当社製圧力センサ CZ-100P/CZ-200P との接続



☞ CZ-100P/CZ-200P の詳細は、**CZ-100P/PCT-300 樹脂圧力計取扱説明書 (IM100CZ04-JC)**、**CZ-200P 取扱説明書 (IM100CZ08-JC)** を参照してください。

📖 他社製の圧力センサについては、それぞれの圧力センサの取扱説明書を参照して接続してください。

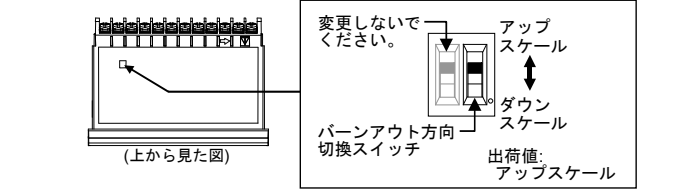
3. バーンアウト方向の設定

バーンアウト方向は、バーンアウト方向切換スイッチと、パラメータのバーンアウト方向 (brKS) で設定します。スイッチとパラメータの両方の設定が必要です。

📖 **バーンアウト方向切換スイッチと、パラメータのバーンアウト方向 (brKS) の設定が異なる場合は、バーンアウト動作が正しく動作しません。**

● バーンアウト方向切換スイッチ

右側のスイッチを、精密ドライバで切り換えます。

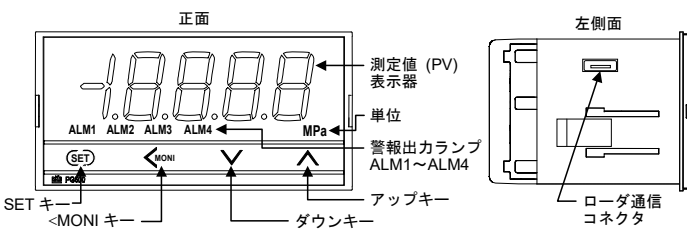


● エンジニアリングモード F21 のバーンアウト方向 (brKS)

名 称	記号	RKC 通信識別子	MODBUS レジスタアドレス	属性	データ範囲	出荷値
バーンアウト方向	brKS	IB	010A 266	R/W	0: アップスケール 1: ダウンスケール	0

☞ パラメータの設定方法および通信データ (オプション) については、**PG500 操作説明書 (IMR02F02-JC)** または **PG500 通信簡易取扱説明書 (IMR02F03-JC)** を参照してください。

4. 各部の名称



測定値 (PV) 表示器 [赤]	測定値 (PV)、各種パラメータ記号や設定値を表示します。
単位	測定値 (PV) の単位です。MPa 以外の場合は、使用する単位に合わせて、付属の単位シールを貼り付けてください。
警報出力ランプ [赤]	警報出力が ON のときに点灯します。 ALM1～ALM4: 第 1 警報出力～第 4 警報出力
アップキー	数値を増加するときに使用します。
ダウンキー	数値を減少するときに使用します。
MONI キー (シフト/モニタキー)	測定値 (PV) に切り換えるときに使用します。 設定変更開始時に使用します。 設定変更時の桁移動に使用します。
SET キー (セツキー)	パラメータの呼び出しや設定値の登録に使用します。
ローダ通信コネクタ	本仕様では使用できません (当社メンテナンス用)。

5. 仕 様

■ 入 力

測定入力 (PV)

適応センサ: ストレンゲージ式圧力センサ

圧力センサのゲイン設定範囲	入力範囲
0.500～0.999 mV/V	-6.0～+15.9 mV (ゼロ点補正範囲を含む)
1.000～1.999 mV/V	-9.8～+25.9 mV (ゼロ点補正範囲を含む)
2.000～2.999 mV/V	-12.3～+32.6 mV (ゼロ点補正範囲を含む)
3.000～4.000 mV/V	-16.1～+42.5 mV (ゼロ点補正範囲を含む)

表示限界値: -9999～+19999 (小数点なしの場合)
-999.9～+1999.9 (小数点以下 1 桁の場合)
-99.99～+199.99 (小数点以下 2 桁の場合)
-9.999～+19.999 (小数点以下 3 桁の場合)
小数点なし、小数点以下 1 桁、小数点以下 2 桁、小数点以下 3 桁
入力小数点位置: 1 点
入力点数: 100 ms ± 0.3 %
サンプリング周期: 1 MΩ 以上
入力インピーダンス: アップスケールまたはダウンスケール
入力断線時の動作: 入力ラインおよびセンサ用電源ラインの断線を検知します。
入力異常時の動作: 入力異常判断点上限および下限設定:
圧力表示下限値 - (入カスパンの 5 %)～
圧力表示上限値 + (入カスパンの 5 %)

測定入力補正
● ゼロ点補正: 手動設定またはオートゼロ
手動設定: -入カスパン～+入カスパン
オートゼロ: -5.0～+5.0 mV (入力換算値)
0.500～1.500
手動設定または
オートキャリブレーション (感度調整用抵抗内蔵圧力センサ使用時の機能)
ゲイン設定範囲: ゲイン設定小数点位置が小数点以下 3 桁の場合 (出荷値):
0.500～4.000 mV/V
ゲイン設定小数点位置が小数点以下 4 桁の場合:
0.5000～1.9999 mV/V

● PV レシオ設定: シャント抵抗出力値: 40.0～100.0 %
(感度調整用抵抗内蔵圧力センサ使用時の機能)
● リニアライズ機能: 当社製圧力センサ CZ-100P/CZ-200P の非線形性を補正する機能です。
圧力センサの定格銘板に記載されているリニアライズ種類を設定します。
(一次遅れ):
● デジタルフィルタ設定 (0～100.0 秒 (0: フィルタ OFF))

デジタル入力 (DI1～DI3)

入力点数: 3 点
入力方式: 無電圧接点入力
オープン状態: 500 kΩ 以上
クローズ状態: 500 Ω 以下
接点電流: 5 mA 以下
開放時の電圧: 約 DC 5 V
取り込み判断時間: 50 ms
機 能: オートゼロ (DI1)、ホールリセット (DI2)、インターロック解除 (DI3)

■ 出 力

ストレンゲージ式圧力センサ用電源

定格電圧: DC 7.7 V ± 3 %
定格電流: 30 mA (MAX)

警報出力 (ALM1～ALM4) [オプション]

出力点数: 4 点 (最大)
接点方式: 1a 接点
接点容量 (抵抗負荷): AC 250 V 1 A、DC 30 V 1 A
電氣的寿命: 30 万回以上 (定格負荷)
機械的寿命: 2,000 万回以上 (開閉頻度 300 回/分)

伝送出力 (AO) [オプション]

出力点数: 出力種類:		1 点、測定値 (PV) を出力		
	定 格	出力範囲	許容負荷抵抗	出力インピーダンス
電圧出力	DC 0～1 V	DC -0.05～+1.05 V	1 kΩ以上	0.1 Ω以下
	DC 0～5 V	DC -0.25～+5.25 V		
	DC 1～5 V	DC 0.8～5.2 V		
	DC 0～10 V	DC -0.5～+10.5 V		
	DC 0～10 mV	DC -0.5～+10.5 mV	20 kΩ以上	約 10 Ω
	DC 0～100 mV	DC -5～+105 mV		
電流出力	DC 4～20 mA	DC 1～21 mA	600 Ω以下	1 MΩ以上
	DC 0～20 mA	DC 0～21 mA		

■ 性 能 (周囲温度: 23±2 °C において)

入 力

精 度: 入カスパンの 0.1 % (センサ用電源を含めず)
雑音除去比: ノーマルモード: 40 dB 以上 (50/60 Hz)
コモンモード: 120 dB 以上 (50/60 Hz)
A/D 変換性能: 1/80000

伝送出力 (AO)

精 度: スパンの ±0.1 %
出力分解能: 約 1/4000

影響変動

周囲温度の影響 (-5～+50 °C): 入 力: 入カスパンの ±0.006 %/°C
センサ用電源: 出力スパンの ±0.013 %/°C
姿勢の影響 (±90°): 入力精度: 入カスパンの ±0.1 % 以下 (センサ用電源を含まず)
出 力: 出力スパンの ±0.3 % 以下

■ 主な機能

ピークホールド/ボトムホールド

ピークホールド/ボトムホールド: 測定値 (PV) の最大値 (ピーク値) と最小値 (ボトム値) を記憶 (ホールド) する機能です。

警報機能 [オプション]

警報設定数: 4 点 (最大)
警報種類選択: 上限入力値、下限入力値
警報設定範囲: 入力レンジと同じ
付加機能: 待機動作、入力異常時動作選択、
インターロック機能、励磁/非励磁選択
遅延タイマ: 0.0～600.0 秒
動作すきま: 0～入カスパン
警報出力 (ALM1～ALM4) から出力

出力方式:

ホスト通信 [オプション]

インターフェース: EIA 規格 RS-422A 準拠、EIA 規格 RS-485 準拠
RKC 通信 (ANSI X3.28-1976 サブカテゴリ 2.5 A4 準拠)
MODBUS-RTU
1200 bps、2400 bps、4800 bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps
最大接続数: 31 台
終端抵抗: 外部に接続
インターバル時間: 0～250 ms

■ 自己診断 (FAIL)

制御停止 (異常状態を知らせることが可能): 調整データ異常 (エラーコード 1)
データバックアップエラー (エラーコード 2)
A/D 変換値異常 (エラーコード 4)
ウォッチドックタイマ (エラーコード 128)
スタックオーバーフロー (エラーコード 256)
プログラムビジー (エラーコード 2048)

動作停止 (異常状態表示不可能): 電源電圧監視
RAM チェック異常
自己診断異常時、出力はすべて OFF
表示: 異常が生じた場合、表示機能が働いていれば表示部に Err とエラー番号を交互に表示します。
出力: 電源 OFF 時と同じ
診断異常要因を除去し、計器電源の再度 ON により復帰

■ 一般仕様

電源電圧: AC 90～264 V (50/60 Hz 共用) [電源電圧変動を含む]
(定格 AC 100～240 V)
周波数変動 50 Hz ± 10 %、60 Hz ± 10 %
AC 21.6～26.4 V (50/60 Hz 共用) [電源電圧変動含む] (定格 AC 24 V)
周波数変動 50 Hz ± 10 %、60 Hz ± 10 %
DC 21.6～26.4 V [電源電圧変動含む] (定格 DC 24 V)
AC 100 V: 6.5 VA 以下 AC 240 V: 10.0 VA 以下
AC 24 V: 7.0 VA 以下 DC 24 V: 210 mA 以下
12 A 以下
-10～+50 °C
5～95 %RH (絶対湿度: MAX.W.C 29.3 g/m³ dry air at 101.3 kPa)
屋内使用
高度 2000 m まで
測定端子と接地間: DC 500 V 20 MΩ 以上
電源端子と接地間: DC 500 V 20 MΩ 以上
電源端子と測定端子間: DC 500 V 20 MΩ 以上
接地は、パネルとなります

絶縁耐圧:	時間: 1 分間	①	②	③	④	⑤
① 接地端子						
② 電源端子	AC 1500 V					
③ 測定入力端子 センサ用電源端子	AC 1500 V	AC 2300 V				
④ 警報出力端子	AC 1500 V	AC 2300 V	AC 2300 V			
⑤ 伝送出力端子	AC 1500 V	AC 2300 V	AC 1500 V			
⑥ 通信、 デジタル入力端子	AC 1500 V	AC 2300 V	AC 510 V	AC 2300 V	AC 1000 V	

瞬時停電の影響: 20 ms 以下の停電に対しては動作に影響なし
停電時のデータ保護: 不揮発性メモリによるデータバックアップ
書き換え回数: ユーザ設定データ: 10 の 12 乗回 (FRAM)
調整および工場設定データ: 約 10 万回 (EEPROM)
ただし、製品の保管期間、保管環境および使用環境等により異なる
データ記憶保持期間: 約 10 年

取付・構造:	取付方法: パネル取り付け ケース色: 黒 前面基板材質: PC [難燃度: UL94 V-0] ケース材質: PPE [難燃度: UL94 V-1] パネルシート材質: PET [難燃度: V-1] 質 量: 約 200 g
■ 規 格	
安全規格:	UL: UL61010-1 cUL: CAN/CSA-C22.2 No.61010-1 低電圧指令: EN61010-1 過電圧カテゴリ II、汚染度 2、クラス II (強化絶縁)
CE マーキング:	EMC 指令: EN61326-1 EN55011 NEMA 4X (NEMA 250)、IP66 (IEC60529) [前面パネル部]
RCM:	
防水防塵:	

6. 型式コード

■ 仕様コード一覧

PG500 □ □ * □ - □ - □ □ - □ □ □ □
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)

(7)～(10): 任意指定の仕様コードです。指定がない場合、銘板にはこのコード表記はありません。

(1) 入力の種類

A: 当社製樹脂圧力センサ CZ-100P/CZ-200P 対応 (標準仕様)
B: 当社製樹脂圧力センサ CZ-100P/CZ-200P 対応 (本質安全防爆仕様)
C: 当社製樹脂圧力センサ CZ-100P/CZ-200P 対応 (標準仕様)
[ルーズナット: 0.0～0.5 MPa、固定ナット: 0～5 MPa]
D: 当社製樹脂圧力センサ CZ-100P/CZ-200P 対応 (本質安全防爆仕様)
[ルーズナット: 0.0～0.5 MPa、固定ナット: 0～5 MPa]
X: 3.33 mV/V 出力タイプ対応 (他社製圧力センサ)

(2) 電源電圧

3: AC/DC 24 V 4: AC 100～240 V

(3) 警報出力 (ALM1～ALM4)

N: 出力なし 2: 2 点 (ALM1、ALM2) 4: 4 点 (ALM1～ALM4)
1: 1 点 (ALM1) 3: 3 点 (ALM1～ALM3)

(4) 伝送出力 (AO)

N: 出力なし 3: 電圧出力 (DC 0～1 V) 6: 電圧出力 (DC 1～5 V)
1: 電圧出力 (DC 0～10 mV) 4: 電圧出力 (DC 0～5 V) 7: 電流出力 (DC 0～20 mA)
2: 電圧出力 (DC 0～100 mV) 5: 電圧出力 (DC 0～10 V) 8: 電流出力 (DC 4～20 mA)

(5) 通信機能

N: 通信機能なし 4: RS-422A 5: RS-485

(6) 出荷時設定

N: なし (出荷値で出荷)*
1: 任意指定コード (警報機能) の出荷時指定あり
* 出荷値: 第 1 警報: 上限入力値警報 (待機なし)
第 2 警報: 下限入力値警報 (待機なし)
第 3 警報、第 4 警報: 警報機能なし

(7) 第 1 警報機能 (AL1)、(8) 第 2 警報機能 (AL2)、
(9) 第 3 警報機能 (AL3)、(10) 第 4 警報機能 (AL4)

コード記号なし: 出荷時設定 (任意指定コード) なしの場合、指定不要
N: 警報機能なし J: 下限入力値 L: 待機付き下限入力値
H: 上限入力値 K: 待機付き上限入力値